

～沿岸地域の交通網整備が地域経済にもたらす効果～

平成27年度地域政策研究センター(地域提案型・前期)

課題名：三陸沿岸道路及び三陸鉄道開通に伴う地域経済への影響と活用策
 研究代表者：総合政策学部 教授 山本健
 課題提案者：岩手県沿岸広域振興局
 研究メンバー：熊谷正則(岩手県沿岸広域振興局)
 技術キーワード：震災復興、三陸沿岸道路、産業・観光振興

▼研究の概要(背景・目標)

高規格道路整備によって、沿岸部主要都市間の時間距離は大幅に短縮されることが予想される。開通を機に、企業の新たな事業展開、地域課題の解決が期待されている。本研究は、そうした期待や懸念の実態を把握し、適切な施策立案に資する基礎的情報を得るために実施された。

▼研究の内容(方法・経過)

1. 調査対象 沿岸地域で被災した2,060(ほぼ全数)の事業所(952件、46.2%の回収)
2. 調査内容 アンケート調査、インタビュー調査(6事業所)
3. 調査期間 2015年11月～2016年3月
4. 調査方法 郵送、訪問による聞き取り

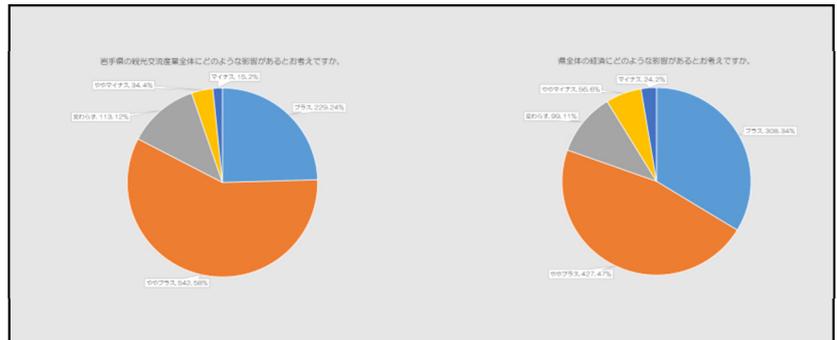
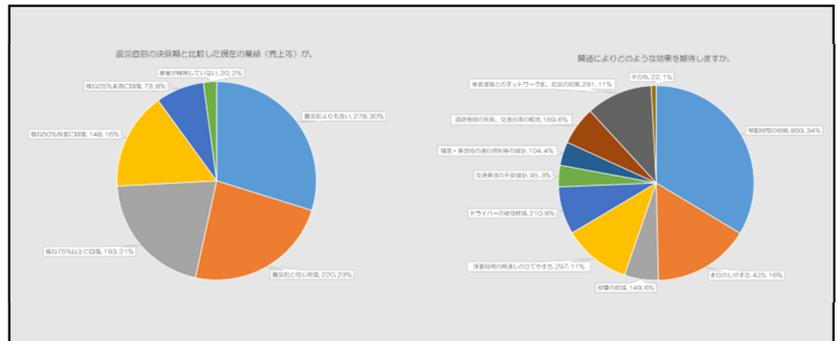
▼研究の成果(アンケート)

1. 53%の事業所が「業績は震災前以上」
2. 期待される効果は①時短、②走行のしやすさ、③見通しの立てやすさ
3. 訪問客数、のべ滞在時間は増加を期待。一人あたり滞在日数は短縮を懸念。
4. 81%が県経済にとってプラスと回答



時間短縮効果の例

宮古-大船渡	110 → 85
宮古-八戸	180 → 120
宮古-仙台	300 → 180
宮古-久慈	105 → 70
宮古-盛岡	105 → 90
花巻-釜石	110 → 80
北上-釜石	110 → 75
八戸-仙台	480 → 300



▼研究の成果(インタビュー)

1. 人手不足の解消で稼働率アップ見込む
2. 内陸部からの誘客増、近隣との連携に期待
3. 運転手の負担軽減、安全性の向上に期待
4. 従業員の通勤時間短縮、通勤圏の拡大
5. 取扱品目の多様化が可能になる
6. 求人票を出せるエリアが拡大する

▼おわりに(まとめ・今後の展開)

1. 単純集計による調査結果を各市町村の職員に提供し、地域や産業に特有の課題の発見と検討につなげたい
2. 産業振興や観光振興等の施策立案のための利活用を促したい
3. 調査実施にあたり、ご回答いただいた事業所、ご提案に始まり、厚いご協力をいただいた沿岸振興局のみなさまに感謝申し上げます(謝辞)